

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年10月17日

甲府地方裁判所民事部執行係

裁判所書記官 松 沼 颯 太

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年11月 6日 午前 8時30分から 令和 7年11月13日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 7年11月20日 午前10時00分 場 所 甲府地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7年12月11日 午前10時00分 場 所 甲府地方裁判所民事部執行係
特別売却 実施期間	令和 7年11月21日 午前 9時30分から 令和 7年11月26日 午後 4時30分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託締結証明書
買受申出の資格の 制限(民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年10月17日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	11, 820, 000 9, 456, 000	一括	2, 364, 000	129, 928	0
1	1, 820, 000				
2	10, 000, 000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 甲府市下鍛冶屋町字内ク祢 |
| | 地 番 | 9 7 8 番 6 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 2 2. 9 4 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 甲府市下鍛冶屋町字内ク祢 9 7 8 番地 6 |
| | 家屋 番号 | 9 7 8 番 6 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 6 2. 9 3 平方メートル
2 階 6 3. 5 5 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 7年 9月 4日

甲府地方裁判所民事部執行係

裁判所書記官 松 沼 颯 太

1 不動産の表示

【物件番号 1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 甲府市下鍛冶屋町字内ク祢 |
| | 地 番 | 9 7 8 番 6 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 2 2. 9 4 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 甲府市下鍛冶屋町字内ク祢 9 7 8 番地 6 |
| | 家屋 番号 | 9 7 8 番 6 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 6 2. 9 3 平方メートル
2 階 6 3. 5 5 平方メートル |



令和7年（ケ）第56号

令和 7年 6月19日受理

令和 7年 7月15日提出

現況調査報告書

甲府地方裁判所

執行官 福田 行 宏 印

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 甲府市下鍛冶屋町字内ク祢 |
| | 地 番 | 9 7 8 番 6 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 2 2. 9 4 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 甲府市下鍛冶屋町字内ク祢 9 7 8 番地 6 |
| | 家屋 番号 | 9 7 8 番 6 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 6 2. 9 3 平方メートル
2 階 6 3. 5 5 平方メートル |

不 動 産 の 表 示	「物件目録」のとおり
住 居 表 示	甲府市下鍛冶屋町 978番地6
土 地	物件 1
現 況 地 目	■宅地（物件 1 ） □公衆用道路（物件 ） □ （物件 ）
形 状	（概ね）土地建物位置概略図のとおり
占 有 者 及 び 占 有 状 況	■土地所有者（●A●） □その他の者 上記の者が本土地上に、主に下記建物を所有して占有している。
下 記 以 外 の 建 物 （目的外建物）	■ない □ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）
そ の 他 の 事 項	地元の不動産業者によって近年に宅地造成された、区画整然とした住宅街にあり、本件物件は、2面を現道（978－15・甲府市が登記上所有する公衆用道路であるが、市道認定はない開発道路）に接している（写真7・8）。
建 物	物件 2
種 類 , 構 造 及 び 床 面 積 の 概 略	■公簿上の記載と概ね同一である。 □公簿上の記載と次の点が異なる（□主たる建物 □附属建物） □種類： □構造： □床面積：
物件目録にない 附 属 建 物	■ない □ある 種類： 構造： 床面積：
占 有 者 及 び 占 有 状 況	■建物所有者（●A●） □その他の者 上記の者が本建物を 居宅（空家） として占有している。
上 記 以 外 の 敷 地 （目的外土地）	■ない □ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）
そ の 他 の 事 項	1 平成31年3月（登記上の表示）に建築された、比較的築浅の電化住宅であり、太陽光発電設備・電気給湯設備・IHクッキングヒーター等が付帯している。なお、室内に残置された書面によると、太陽光発電設備についても、建物建築と概ね同時期に設置・取得している。 2 室外に表札は見当たらなかったが、玄関の隅に置かれていた郵便ポスト（写真6）内は、所有者宛ての郵便物等で滞留状態にあった。 室内には、大量の家具・生活用品等がそのまま放置されて（散乱して）いる状態であり、今年（令和7年）2月のカレンダーが掲示されたままになってい

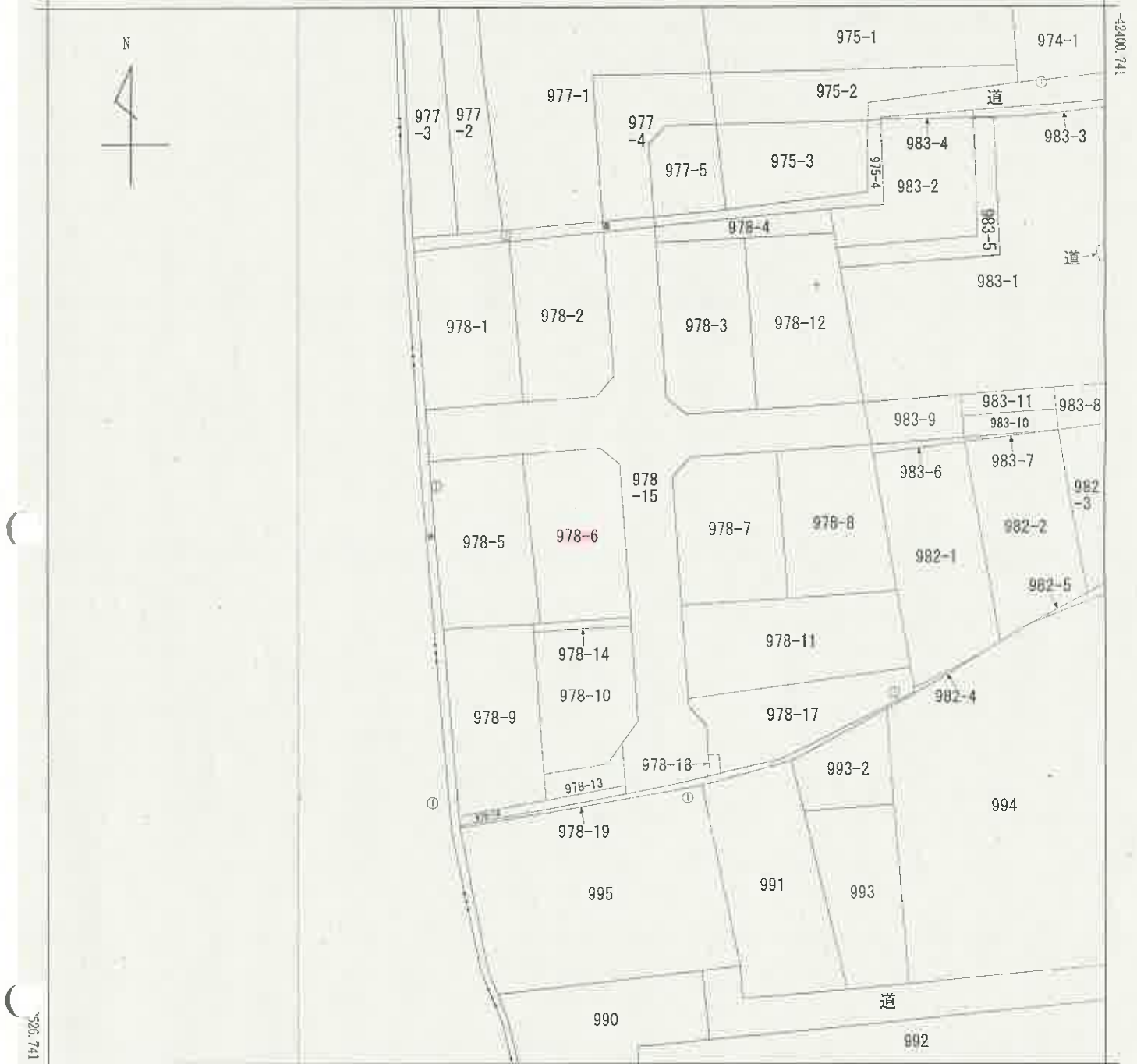
	たことから、その頃に（何らかの事情で慌ただしく）退去したものと推察される。なお、第三者が占有している外形は現認できなかった。 よって、本件居宅は、所有者が大量の目的外動産を残置したままの空家状態で占有しているものと認めた。 3 床・クロスの汚れ等が散見されるなど、空家であることも相俟って、保守・管理状態はやや劣るものと観察した。 4 室内に犬の餌が残置されていた（写真11）ことから、飼育していたと推察される。
執行官保管の 仮 処 分	☒ ない 地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 ☐ ある 保管開始日 平成 年 月 日
土地建物の位置関係	（概ね）土地建物位置概略図のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7年6月25日（水） ： — :	当庁執行官室	甲府地方法務局宛て 登記事項証明書交付請求（郵送）
7年6月27日（金） 9：00—10：00	物件所在地 （1回目）	現地確認（空家状態），室外写真撮影 所有者宛て現況調査期日等通知（差置）
7年7月11日（金） 10：00—11：30	物件所在地 （2回目）	現況調査（空家状態・建物内立入），写真撮影 ＜評価人同行＞ ※ 1回目臨場時に差し置いた通知書は，未開封のまま差置場所に放置されていた
（特記事項） ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので，立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☒ 令和 7年 7月11日 目的物件は全戸不在（空家状態）で施錠されていたので，立会人 ●B●● を立ち会わせ，技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

A3判をA4判に縮小

(座標値種別：図上測定)

+7613.530



+7488.530

(座標値種別：図上測定)

(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyoueki2011.par)による修正がされています。

地番区域見出
下鍛冶屋町

請求部	所 在	甲府市下鍛冶屋町字内ク柵				地 番	978番6			
出力縮尺	1/500	精 度 区 分	甲三	座標系番号又は記号	Ⅷ	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日					備付年月日(原図)	昭和59年2月			補記事項	

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年4月30日

甲府地方務局

請求番号：42-1

登記官

(1/1)

(4 枚目)

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年4月30日 甲府地方方法務局

登記官

(5 枚目)

A3判をA4判に縮小

建物図面
各階平面図

家屋番号	978番6
建物の所在	甲府市下鍛冶屋町字内シ跡978番地6

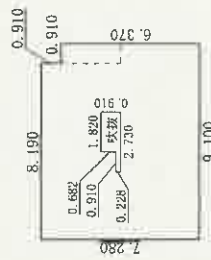
各階平面図

1階



求積表		
9.100 × 3.640	=	33.124000
8.190 × 3.640	=	29.811600
合計		62.935600
床面積		62.93 m ²

2階



求積表		
9.100 × 3.640	=	33.124000
3.185 × 0.228	=	0.726180
3.185 × 0.910	=	2.898350
4.095 × 0.682	=	2.792790
9.100 × 1.820	=	16.562000
8.190 × 0.910	=	7.452900
合計		63.556220
床面積		63.55 m ²

(自調速12)

作成者	1 まさ	縮尺	1 250	申請人	縮尺	1 500
-----	---------	----	----------	-----	----	----------

日作成

(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

土地建物位置概略図

写真撮影
位置・方向

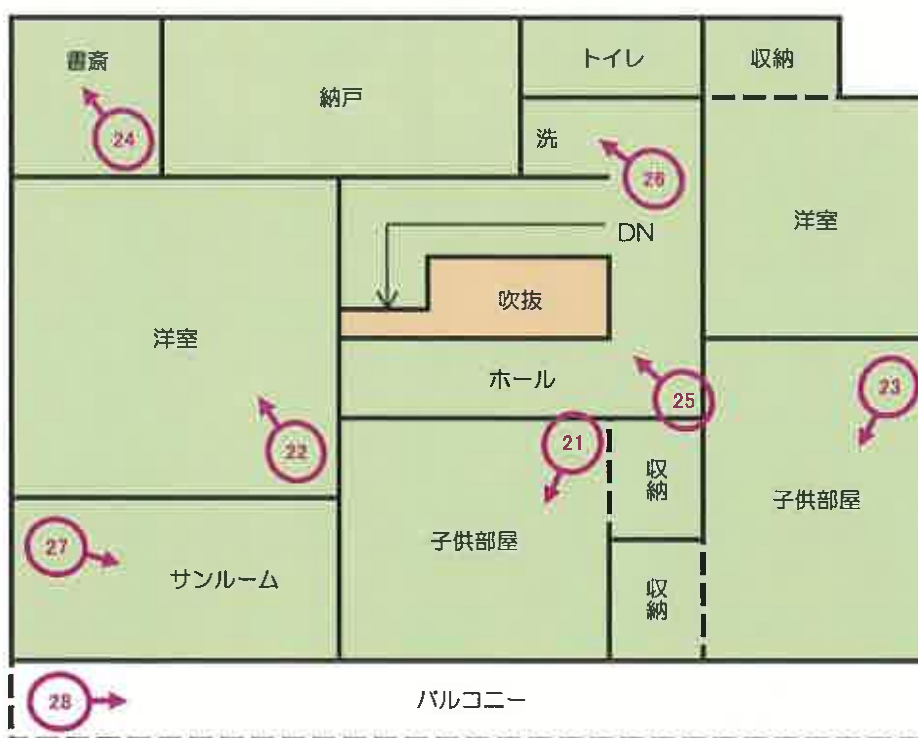
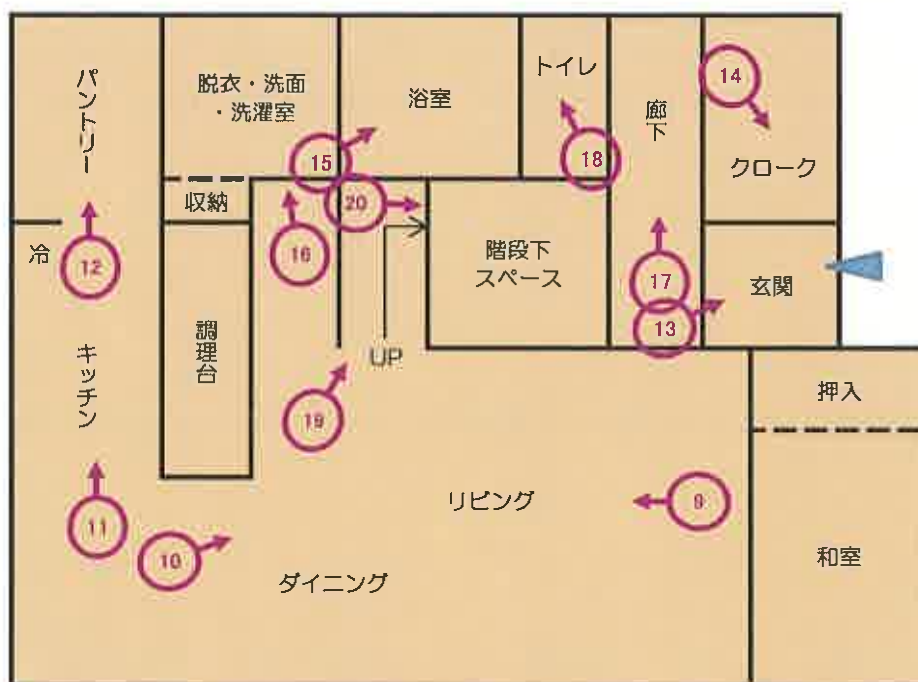


【 申立外の近隣地（8筆）を表示 】

間取図（物件2）

【1階】

写真撮影
位置・方向



【2階】



（ 7 枚目 ）

1



本件物件の全景

2



写真①の近景

3



本件物件の横側近景

4



本件物件の裏側近景

カーポート（奥は本件土地内の簡易物置）

5



※ 幅狭の隣地
(978-14)

6



玄関ポーチ

※ 表札はなく 郵便ポストが 隅に置かれている

7



接道状況

8



接道状況

9



1階リビング（手前）・ダイニング（奥）

10



1階リビング（奥）・ダイニング（手前）

1階 キッチン

11



12



1階 パントリー

1階 玄関

13



14



1階 クローク

1階 浴室

15



16



1階 脱衣・洗面・洗濯室

1階 玄関脇廊下

17



18



1階トイレ

1階 階段等

19



20



階段・天窗

2階 子供部屋

21



22



2階 洋室

2階 子供部屋

23



24



2階 書斎

2階 階段ホール

25



26

26



2階 洗面スペース

2階 サンルーム

27



28



2階 バルコニー

令和7年(ケ) 第56号
令和7年7月11日 現地調査
令和7年7月18日 評価

甲府地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
小野 淳一

第1 評価額

一括価格	
金 11,820,000円	
内訳価格	
物件1（土地）	金 1,820,000円
物件2（建物）	金 10,000,000円

- 1 一括価格は、物件1及び物件2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 番 地 地 目 地 積	物件目録記載の通り	左記の通り
2	所 在 番 家 屋 号 種 類 構 造 床 面 積	物件目録記載の通り	左記の通り
特 記 事 項			
○物件1 土地について 本件土地は、開発許可（建指令第999号、平成30年1月23日付）を受けた区域内に所在する。当該開発許可は、専用住宅を目的としており、想定用途地域は第一種中高層住居専用地域（建ぺい率60%、容積率200%、高さ制限13m以内）となっている。このため、開発目的に準拠した建物であれば再建築可能であるが、開発目的以外の建物を建築する場合には開発許可の変更が必要となる。その場合、近隣地域は甲府市洪水ハザードマップによる最大浸水深3m以上5m未満の地域であるため、浸水対策を求められることに留意されたい。 ○物件2 建物について 物件2 建物の屋根に設置されたソーラーパネルについては、建物建築と同時期に設置・取得されたものと推定される。			

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 甲府市下鍛冶屋町字内ク祢 |
| | 地 番 | 978番6 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 222.94平方メートル |
| 2 | 所 在 | 甲府市下鍛冶屋町字内ク祢 978番地6 |
| | 家屋 番号 | 978番6 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 62.93平方メートル
2階 63.55平方メートル |

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

【物件1】

位 置 ・ 交 通	ＪＲ身延線「甲斐住吉」駅南東方経路約3.2kmに位置する。	
付 近 の 状 況	甲府市南部にある中規模低層戸建住宅を中心とする住宅地域である。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない一 般的な規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	都市計画区域（市街化調整区域） 第一種中高層住居専用地域相当 指定 60% 指定 200% なし 甲府市景観条例
画 地 条 件	地 積 : 222.94㎡ 間 口 : 約20m 奥 行 : 約11m 形 状 : 略長方形 地 勢 : 平坦地 高低差 : 接面道路と等高 セットバック : 不要 接面道路との関係 : 角地	
接面道路の状況	東側幅員約6m舗装道路 （建築基準法第42条第1項第2号相当） 北側幅員約6m舗装道路 （建築基準法第42条第1項第2号相当）	
土地の利用状況等	「現況調査報告書」記載の通り。	
供 給 処 理 施 設	上水道 : あり ガス配管 : なし 下水道 : あり	
特 記 事 項	○埋蔵文化財包蔵地について 甲府市教育委員会に聴取したところ、本件土地は埋蔵文化財包蔵地に該当していない。	

2 建物の概況及び利用状況

【物件2】

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載） 平成31年3月10日新築 経過年数 約6.3年 経済的残存耐用年数 約18.7年
仕 様	構造 木造スレートぶき2階建 屋根 スレート等 外壁 窯業系サイディングボード等 内壁 ビニールクロス等 天井 ビニールクロス等 床 フローリング、畳等 設備 浴室、トイレ等 その他 太陽光発電設備一式、電気給湯設備、IHクッキングヒーター等
床面積（現況）	「第3 目的物件」欄記載の通り
現況用途等	階 層 地上2階建 現況用途 居宅 間 取 り 「現況調査報告書」の「間取図」参照
品 等	中 位
保守管理の状態	保守管理の状態に劣る。
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載の通り。
特 記 事 項	本件建物の建築確認申請（日住評確18190657号、平成30年9月5日付）は適正に行われており、完了検査も検査済みとなっている。

第5 評価額算出の過程

I. 積算価格の試算

1 基礎となる価格

①建付地価格（物件1土地）

公示価格等を規準とした価格等を基に標準画地価格を求め、個別的要因を考慮した個別格差、地積、建付減価を乗じて物件1土地の更地・建付地価格を求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	更地・建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	29,400	0.93	222.94	1.00	6,100,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価調査 甲府（県）－22

公示価格等 37,200円/㎡ × 時点修正 100.8/100 × 標準化補正 100/102 × 地域格差 100/125 = 標準画地価格 29,400円/㎡

◇時点修正 : 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正 : 方位 +2%

◇地域格差 : 環境条件 住環境 1.25 (+25%)

イ 個別格差 : 画地条件

方位	1.02 (+2%)
角地	1.01 (+1%)
間口・奥行	0.90 (-10%)
相乗積	0.93 (-7%)

ウ 地 積 : 登記数量による。

エ 建付減価 : 必要ない。

②建物価格（物件2）

目的物件の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、物件2の建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床 面積(㎡) イ	現価率 ウ	主たる建物価格 (円) ア×イ×ウ
2	180,000	126.48	0.60	13,660,000

ア 再調達原価：本件建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。

イ 現況延床面積：現況延床面積約126.48㎡を採用。

ウ 現 価 率：経過年数6.3年、経済的全耐用年数25年、
経済的残存耐用年数18.7年、観察減価20%、残価率1%、耐用年数
に基づく方法と観察減価法を併用し、以下の通り現価率を査定した。

現価率の査定

{残価率1%+(100%-1%)}

×(経済的残存耐用年数18.7年/経済的全耐用年数25年)}

×(1-観察減価20%)≒0.60

2 評価額の査定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算して、下記の通り積算価格を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	6,100,000	0.50	法定地上権	3,050,000

イ 土地利用権等割合：物件1の土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を上記の通り査定した。

② 積算価格

番号	基礎となる 価格 (円) ア	土地利用権等 価格の控除 及び加算 (円) イ	市場性 修正 ウ	積算価格 (円) (ア±イ)×ウ	構成比 (%)
1	6,100,000	－3,050,000	1.00	3,050,000	15.4
2	13,660,000	＋3,050,000	1.00	16,710,000	84.6
合 計				19,760,000	100.0

ウ 市場性修正：必要ない。

II. 収益価格の試算

(純収益を還元利回りで還元する方法による)

総収益 (円) ア	純収益 (円) イ	還元利回り ウ	その他 補正 エ	収益価格 (円) イ÷ウ×エ
1,204,000	963,200	6%	1.00	16,050,000

ア 総収益

本件物件は、現在、自己所有の状態であるため、周辺家賃水準を参考に賃貸可能な家賃を想定し、下記の通り総収益を査定した。

a. 年額支払賃料

$$100,000\text{円/月} \times 12\text{ヶ月} = 1,200,000\text{円}$$

b. 敷金の運用益

$$100,000\text{円/月} \times 2\text{ヶ月} \times \text{運用利回り}2.0\% = 4,000\text{円}$$

c. 総収益(a・bの合計) : 1,204,000円

イ 純収益

$$\text{経費率を総収益の}20\%\text{と査定} : 1,204,000\text{円} \times (1-0.20) = 963,200\text{円}$$

ウ 還元利回り

本件物件の特性を考慮し、還元利回りを6%と査定した。

エ その他補正

補正の必要はない。

Ⅲ. 評価額の決定

1 試算価格の調整

	占有減価修正前 試算価格(円) ア	占有 減価修正 イ	試算価格 (円) ア×イ
①積算価格	19,760,000	1.00	19,760,000
②収益価格	—	—	16,050,000
③調整後の価格			19,700,000

以上により積算価格と収益価格が試算されたが、本件物件は、収益性よりも居住の快適性を重視する専用住宅であるため収益価格は低位に査定された。一方、積算価格は、豊富な資料に裏付けられた実証的な価格である。よって、本件においては、積算価格を重視して調整後の価格を上記の通り査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、必要に応じて市場性修正及び競売市場修正等を施して、下記の通り評価額を判定した。

調整後の価格 (円) ア	市場性 修正 イ	競売市場 修正 ウ	評価額 (円) ア×イ×ウ
19,700,000	1.00	0.60	11,820,000

イ 市場性修正 : 必要ない。

ウ 競売市場修正 : 不動産競売市場の特殊性を考慮して▲40%と査定した。

3 内訳価格の判定

評価額を各物件の積算価格の構成比により按分し、競売市場を前提とした評価額を以下の通り求めた。

番号	評価額 (円) ア	構成比 イ	内訳価格 (円) ア×イ
1	11,820,000	15.4%	1,820,000
2	11,820,000	84.6%	10,000,000
一括価格(合計)			11,820,000

第6 参考価格資料

地価調査価格 甲府(県)－22

所在地 : 甲府市西油川町字志多田18番12

地目 : 宅地

価格 : 37,200円/㎡

位置 : JR身延線「甲斐住吉」駅3.3km

価格時点 : 令和6年7月1日

地積 : 219㎡

供給処理施設 : 水道、下水道

接面道路 : 西側幅員5m道路

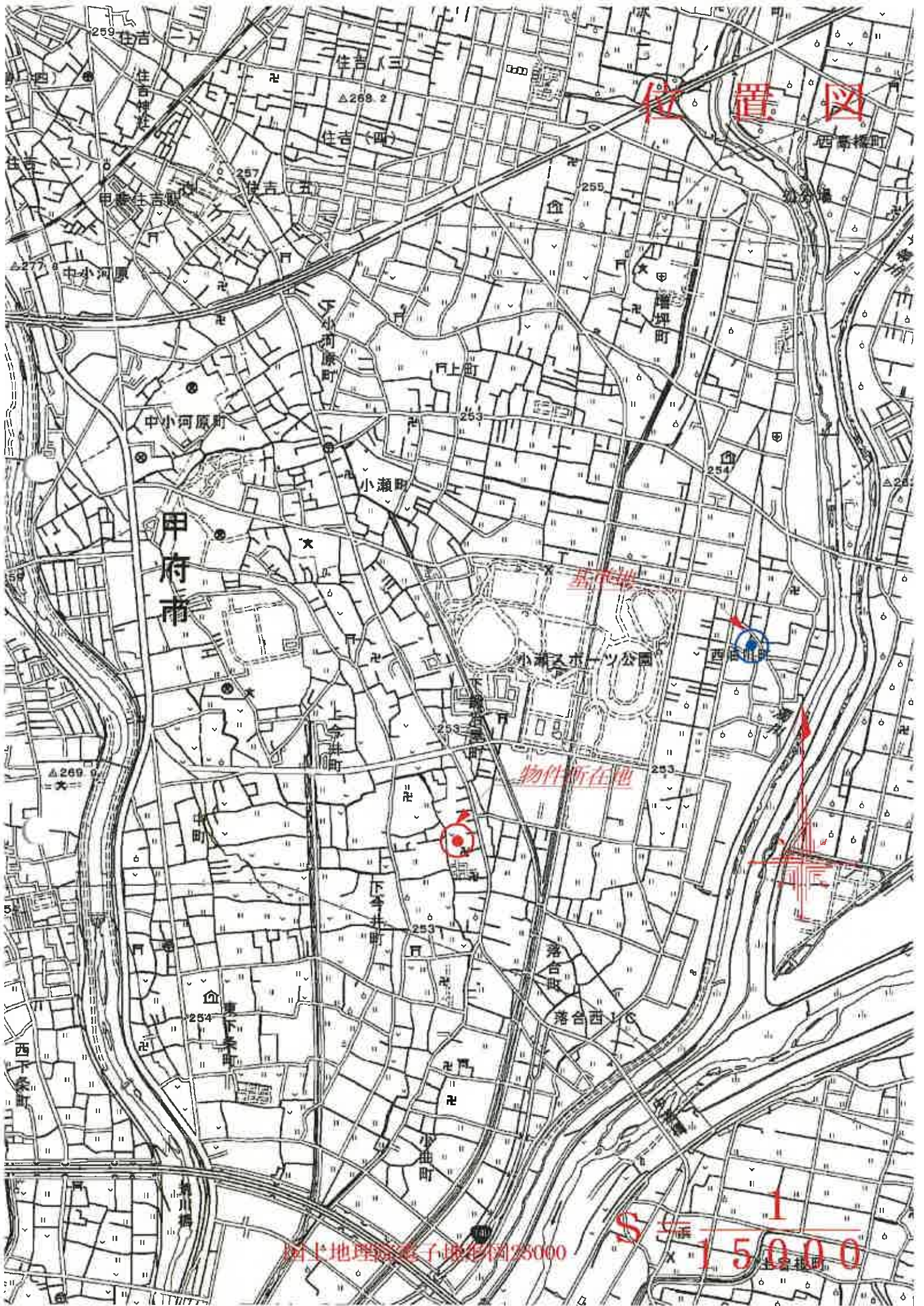
用途指定等 : 都市計画区域(市街化調整区域)

(建ぺい率60%、容積率200%)

地域の概要 : 周囲には農地も残る中に中規模の一般住宅が建ち並ぶ新興住宅地域

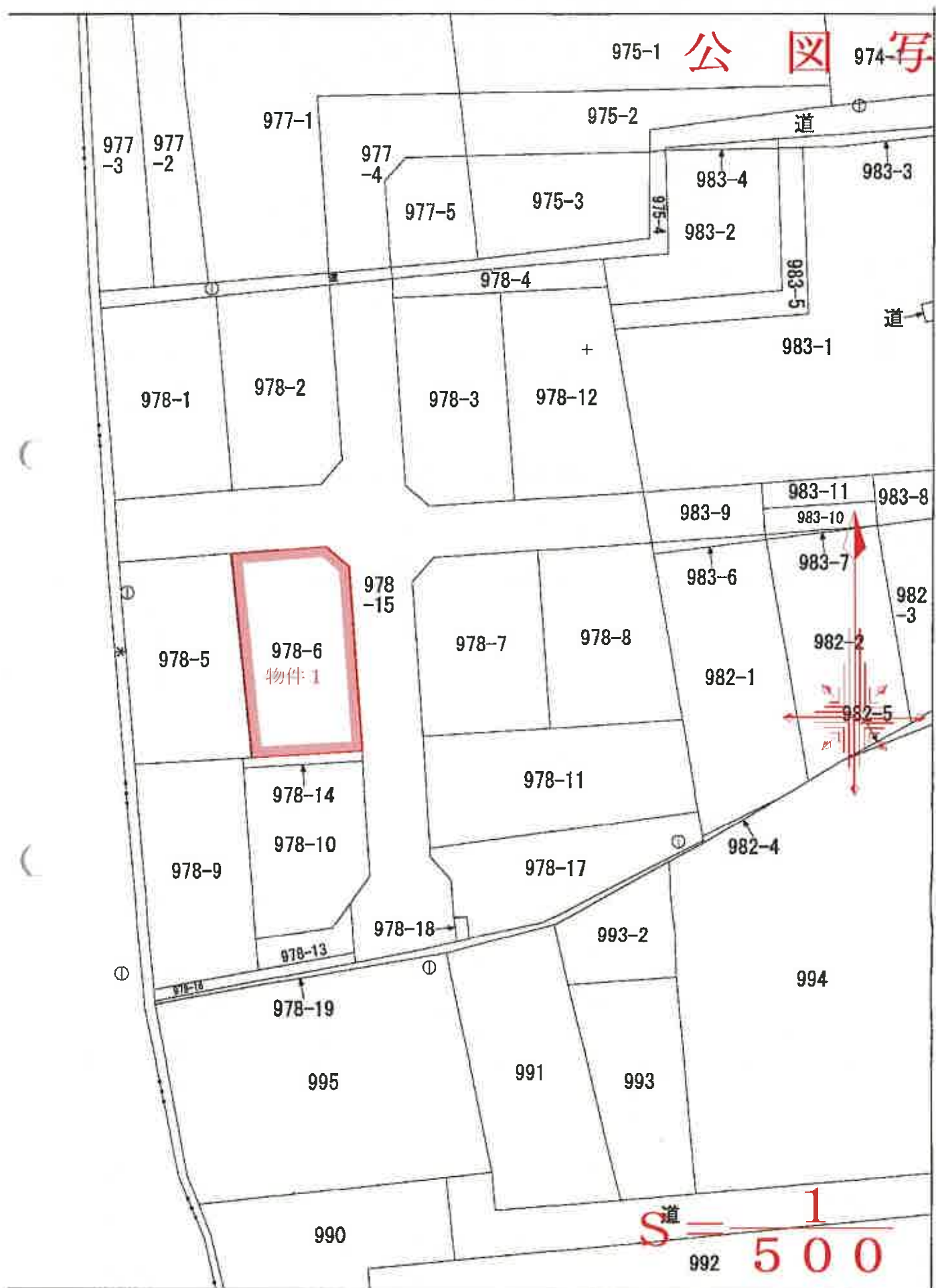
以 上

位置図



国土地理院電子地形図25000

1:15000
15000



これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年4月30日 甲府地方方法務局

製品加工

請求番号: 42-2

建 物 圖 面

各階平面図

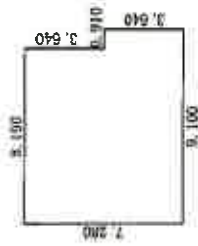
678

甲府市下鍛冶屋町字内ク杯978番地6

建物番号	建物の所在
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23
24	24
25	25
26	26
27	27
28	28
29	29
30	30
31	31
32	32
33	33
34	34
35	35
36	36
37	37
38	38
39	39
40	40
41	41
42	42
43	43
44	44
45	45
46	46
47	47
48	48
49	49
50	50
51	51
52	52
53	53
54	54
55	55
56	56
57	57
58	58
59	59
60	60
61	61
62	62
63	63
64	64
65	65
66	66
67	67
68	68
69	69
70	70
71	71
72	72
73	73
74	74
75	75
76	76
77	77
78	78
79	79
80	80
81	81
82	82
83	83
84	84
85	85
86	86
87	87
88	88
89	89
90	90
91	91
92	92
93	93
94	94
95	95
96	96
97	97
98	98
99	99
100	100

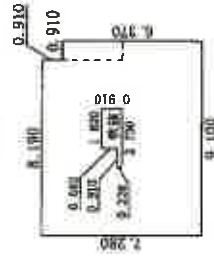
建物の所在

隨
一



求 積 要	
9.100×3.540	$= 33\ 124\ 000$
8.190×3.540	$= 29\ 811\ 600$
合 計	62 935 600
床面積	62.93 m ²

2 墻



求 積 表							
9. 100 ×	3. 640					33. 124000	
3. 185 ×	0. 228					0. 726180	
3. 185 ×	0. 910					2. 898350	
4. 085 ×	0. 682					2. 792750	
9. 100 ×	1. 820					16. 562000	
8. 190 ×	0. 910					7. 452900	
合 計						63. 556220	
床面積						63. 55	㎡

(五) 数据型 12

著 成 作

(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

縮尺 250

人請中

縮尺 $\frac{1}{500}$

物件 2

A4判に縮小